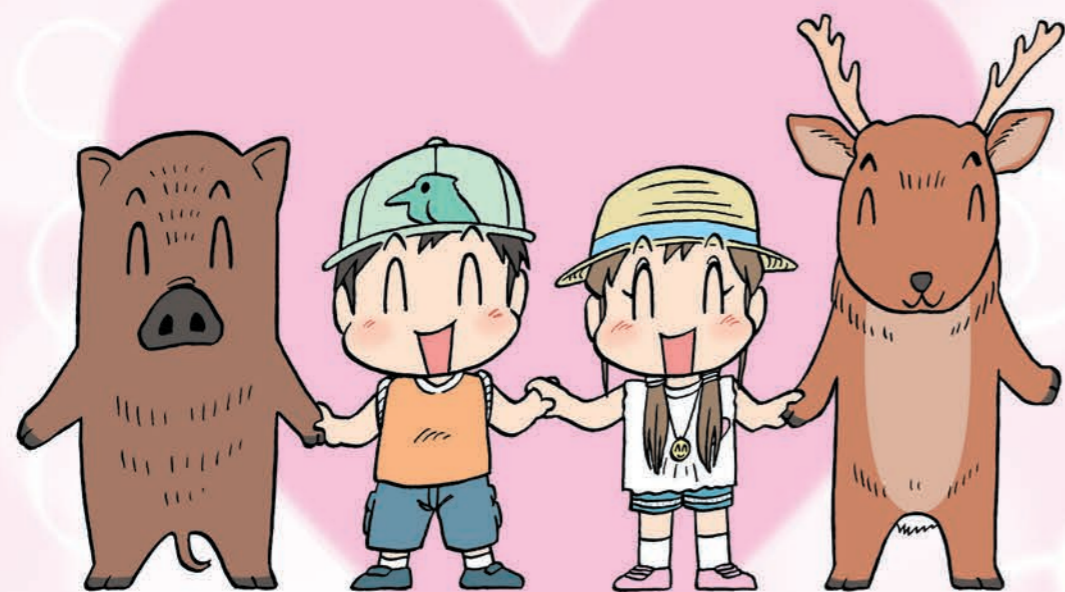


♪現代日本のイノシシ・シカ大問題♪



環境省

■奥付■

作・画:つやま あきひこ(環境漫画家)<http://www.21eco.net/>

協力:岩間 敏彦(里山保全再生ネットワーク)<http://satoyama-saisei.net/>
小寺 祐二(博士(農学):宇都宮大学 農学部附属里山科学センター特任助教)
ケビン・ショート(文化人類学者:東京情報大学 環境情報学科教授)

作画協力:栗山 裕史(漫画家&イラストレーター)



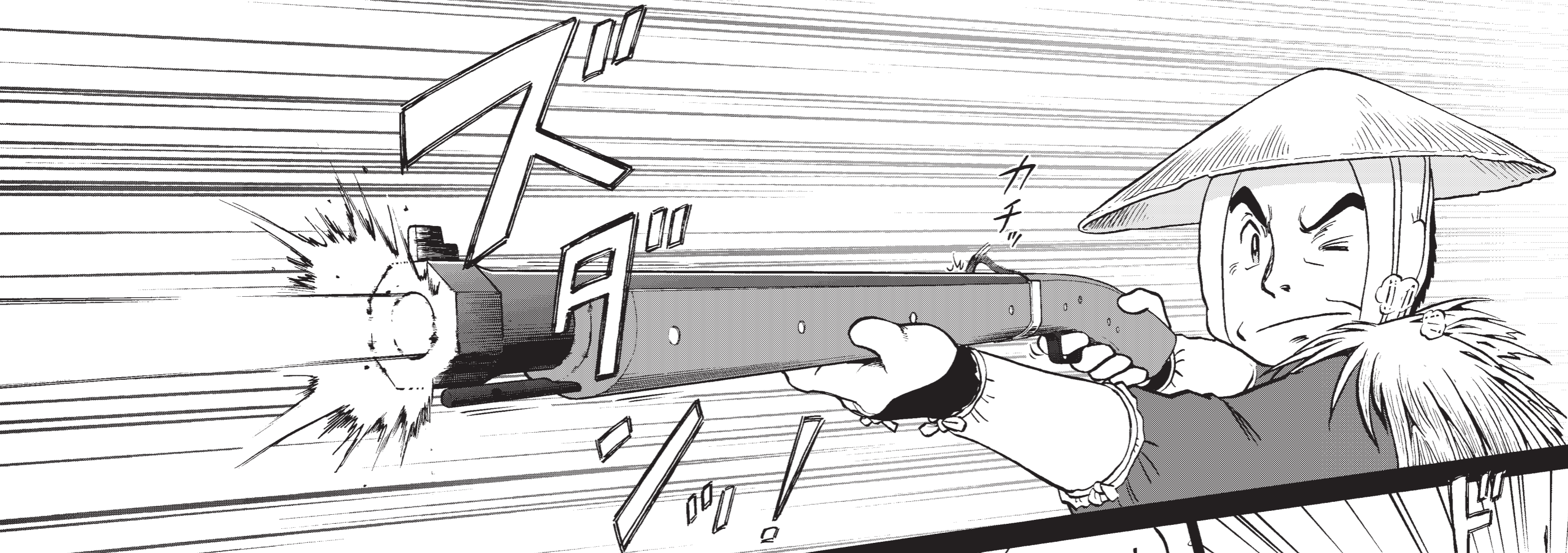
参考文献・資料:

- ・狩猟と環境を考える円卓会議提言書 <http://www.moriniikou.jp/file/teigen.html>
- ・シリーズ日本列島の三万五千年—人と自然の環境史 1・2・3・5 / 文一総合出版
- ・日本の狩猟採集文化 / 池谷 和信・長谷川 政美 / 世界思想社
- ・オオカミはなぜ消えたか / 千葉 徳爾 / 新人物往来社
- ・栗野岳の主 / 棕 鳩十 / 小峰書店
- ・動物との契約 / デズモンド・モリス / 平凡社
- ・イノシシを獲る / 小寺 祐二 / 農文協
- ・宮崎の狩猟 / 山口 保明 / 鉦脈社
- ・鹿肉食のすすめ / C・W ニコル / 東京環境工科学園出版部
- ・環境省自然環境局鳥獣保護業務室業務資料
- * その他、沢山の自然環境関連等の文献・資料を参考に描きました。

*この漫画は事実を元に取材し、執筆したフィクションです。
*当冊子に掲載されている文章、キャラクター等については、無断転載・無断加工を禁止しております。
*当冊子の販売等営利目的での使用を禁止しております。

平成23年11月印刷
発行:環境省 自然環境局 鳥獣保護業務室
〒100-8975 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
<http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5.html>

さかのぼること
時は江戸時代

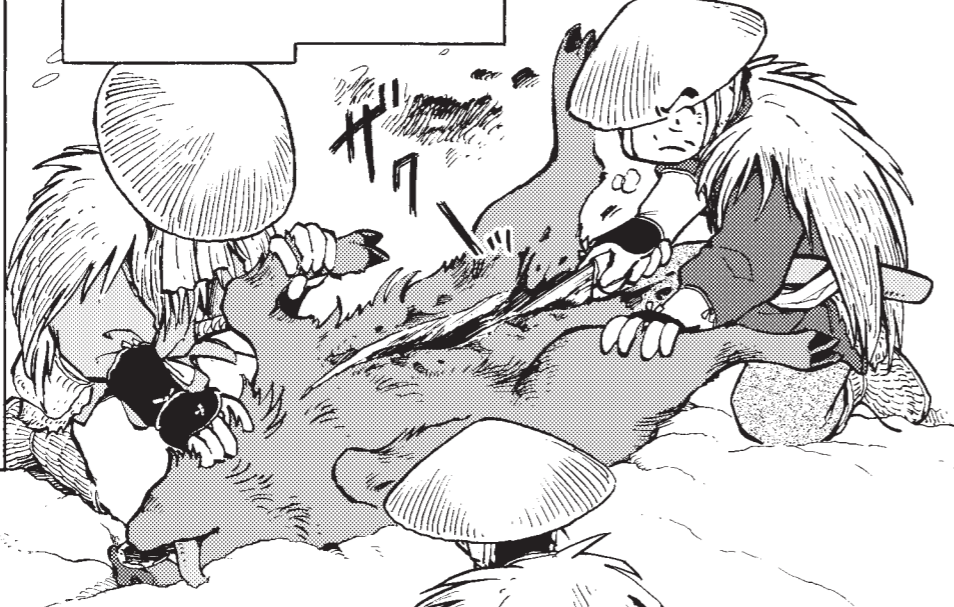


おお、こがあに
大きなシンを
仕留めたのは
久しぶりじゃのお



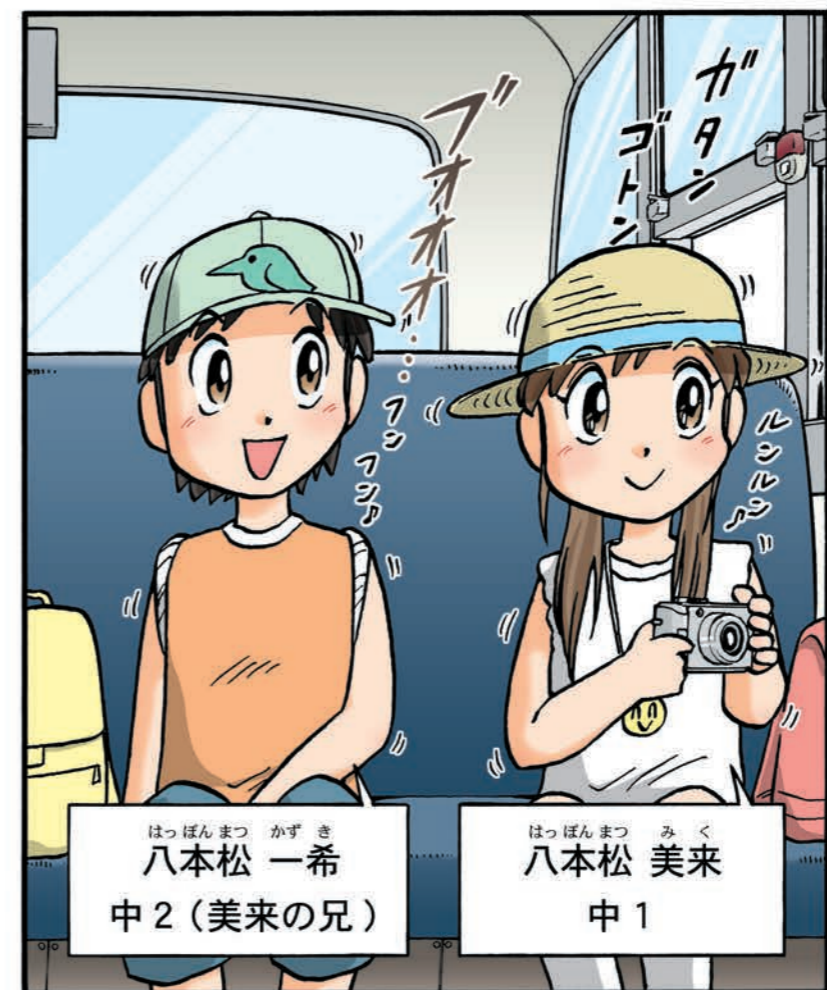
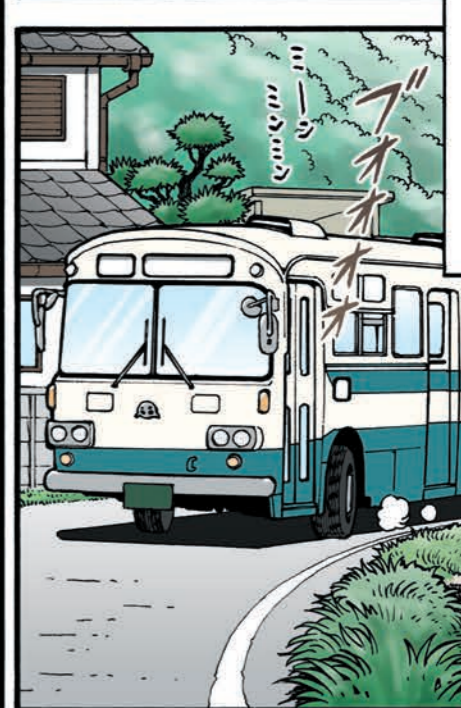
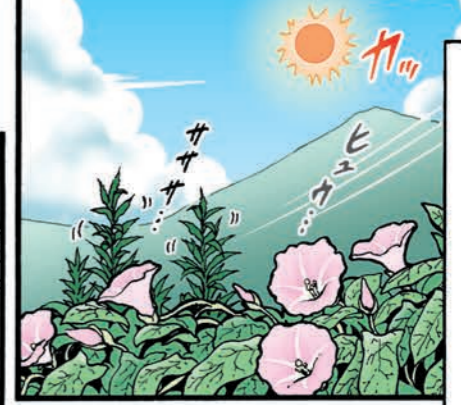
イノシシ・シカは
狩猟採集生活だった
縄文時代以前から
長い間、ずっと
日本人の貴重な
食料、生活の糧で
あった

そして自然への信仰や
おそれの対象として
大切にされた一方、
田畑を荒らす
ものとして、敵視される
ところもあった



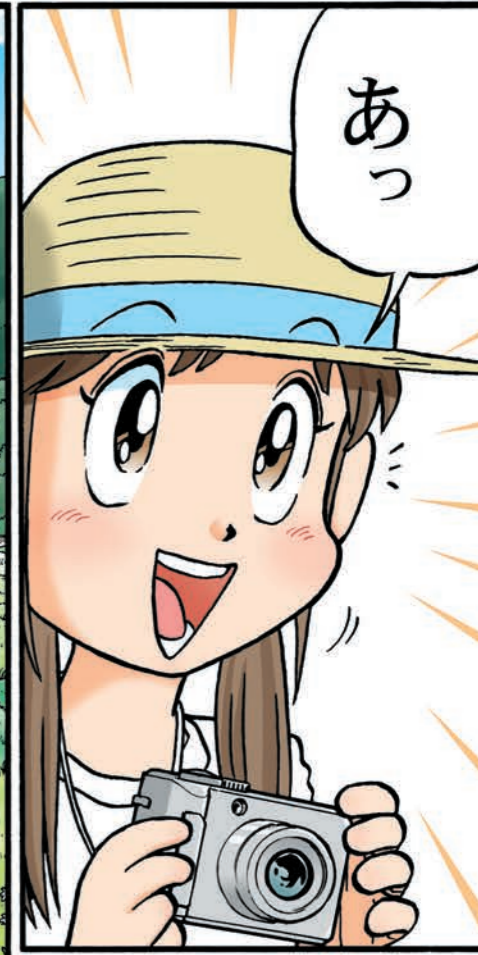
山の神さんに
感謝せにゃあのお...





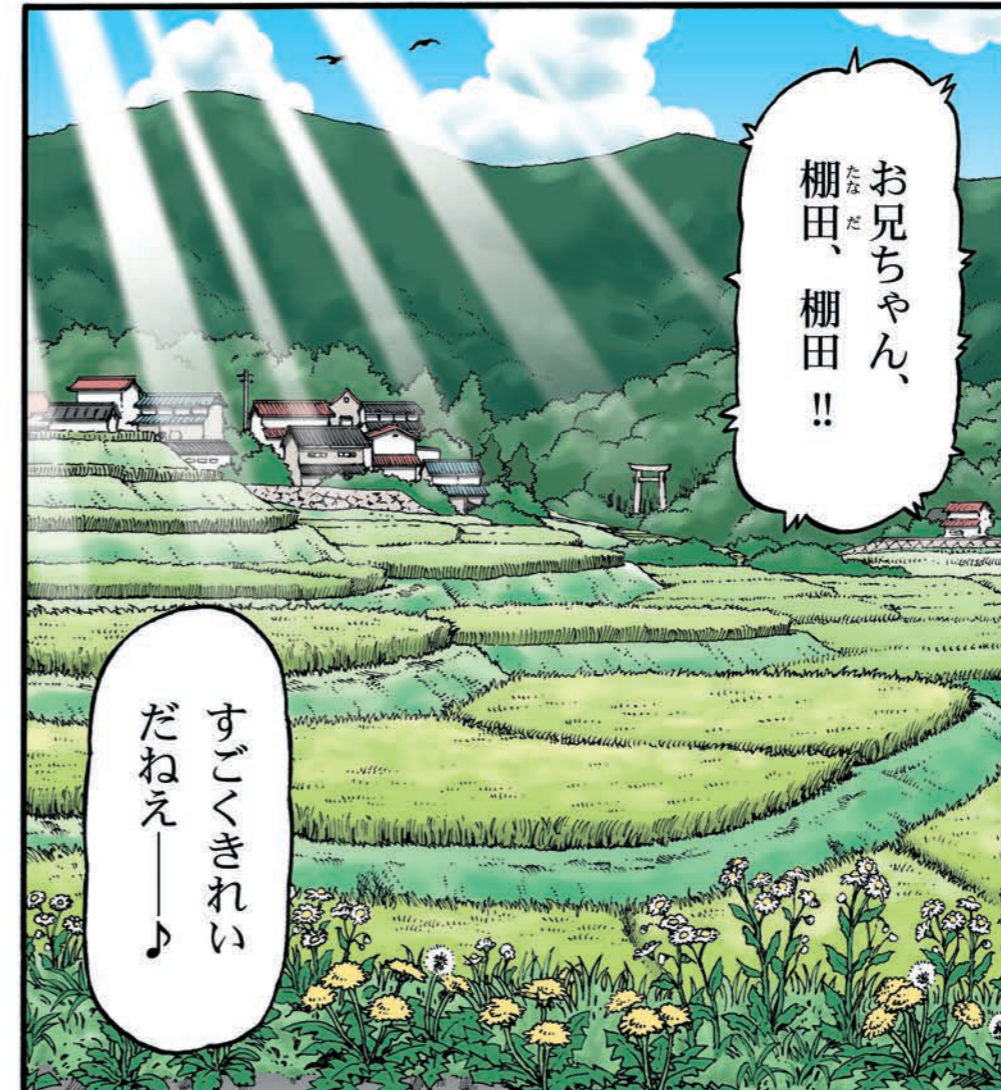
はっぼんまつ かずき
八本松 一希
中2 (美来の兄)

はっぼんまつ みく
八本松 美来
中1

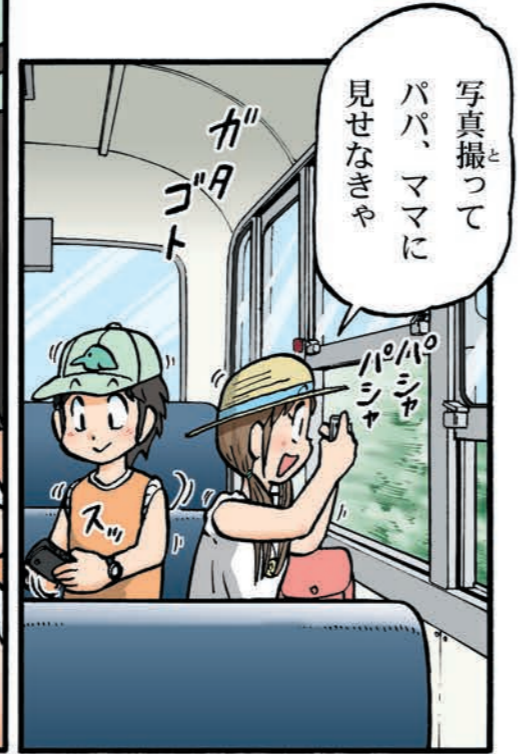


あっ

お兄ちゃん、
棚田、棚田!!



すごくきれいだねえー♪



写真撮って
パパ、ママに
見せなきゃ

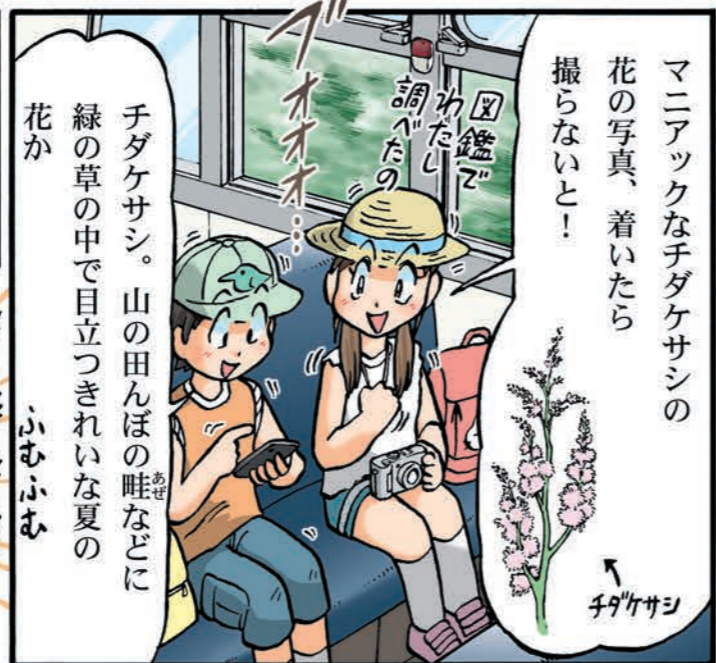


棚田

山沿いなどの傾斜地に
作った田んぼのこと



そろそろ
おじいちゃん
おばあちゃん
家につくころ
だね



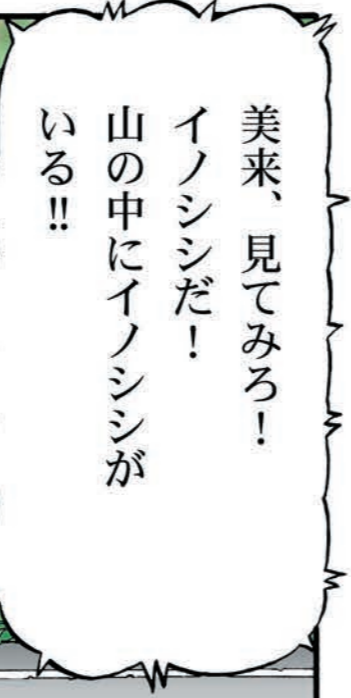
マニアックなチダケサシの
花の写真、着いたら
撮らないと!

チダケサシ。山の田んぼの畦などに
緑の草の中で目立つきれいな夏の
花か

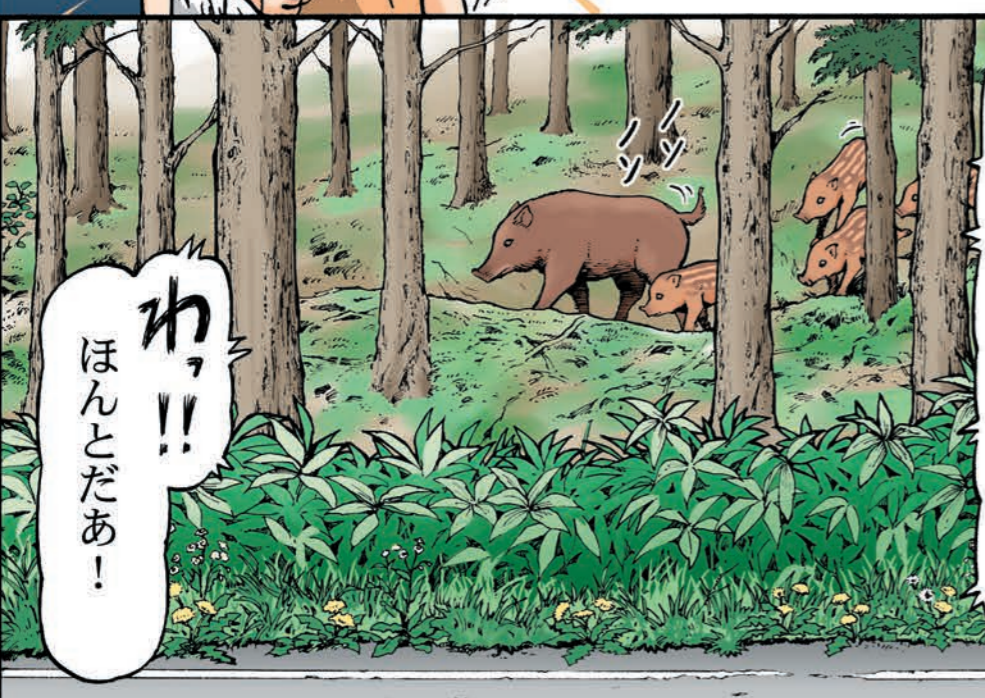


わあ!!

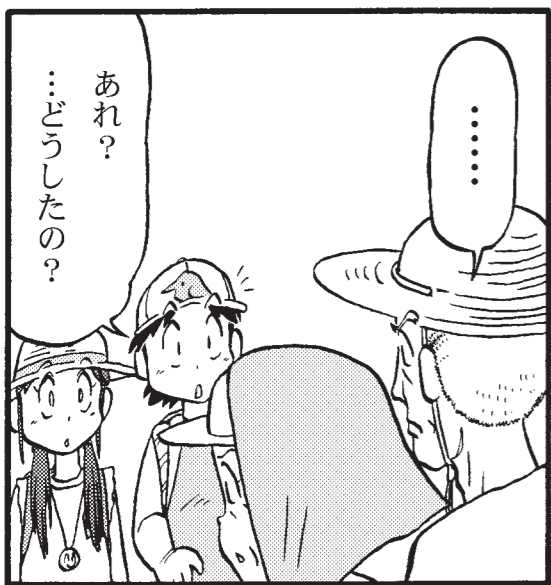
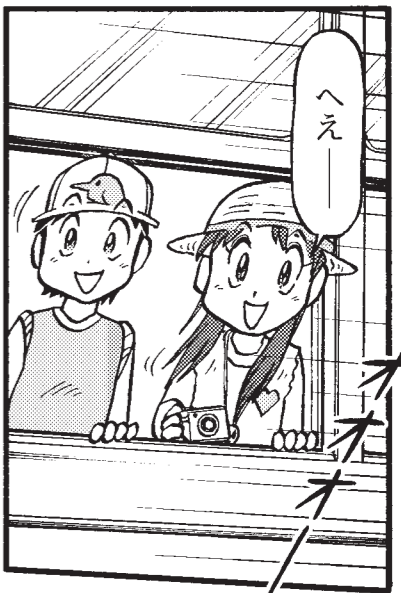
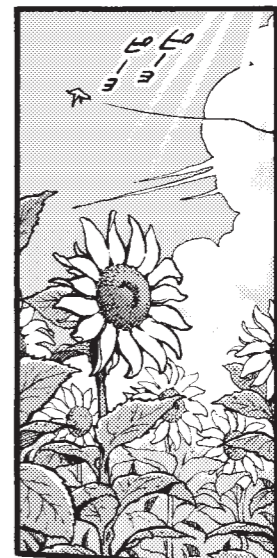
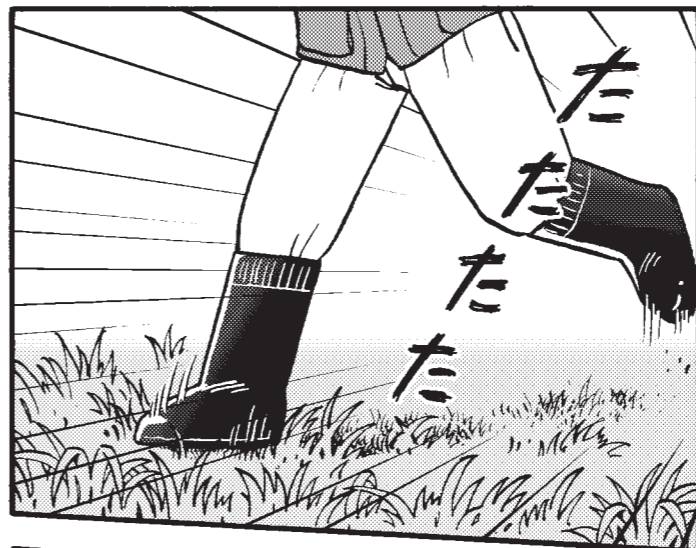
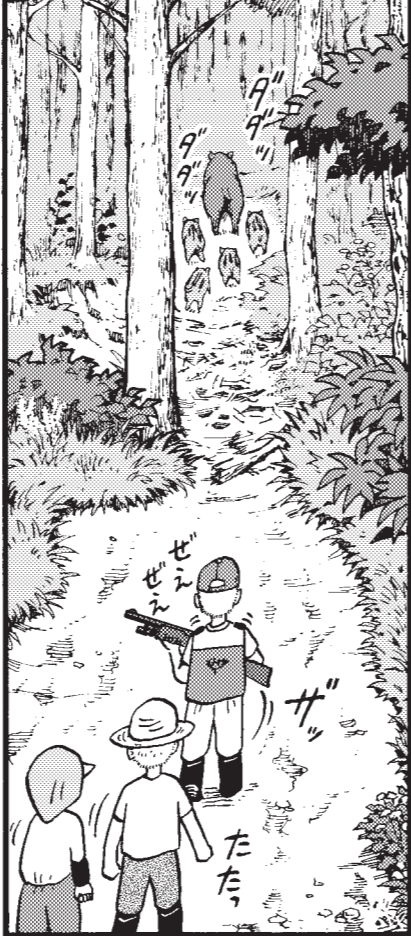
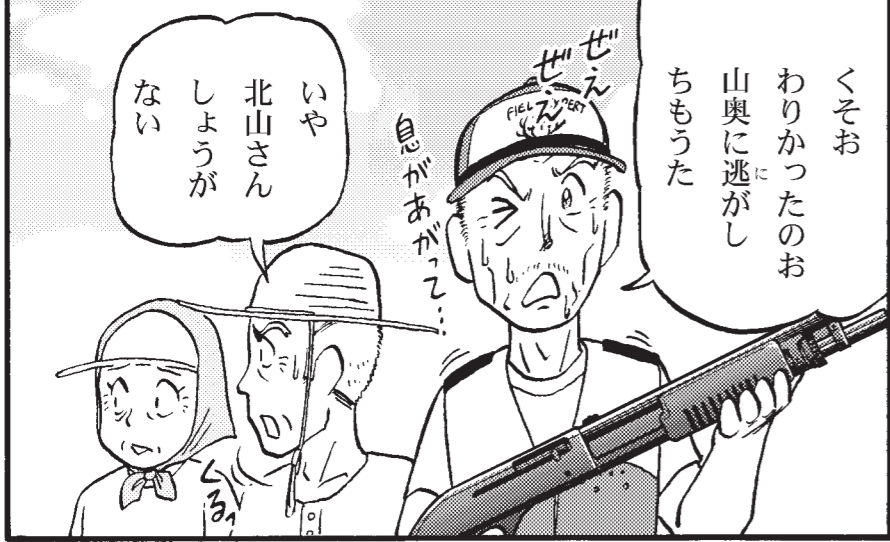
どうしたの?
お兄ちゃん

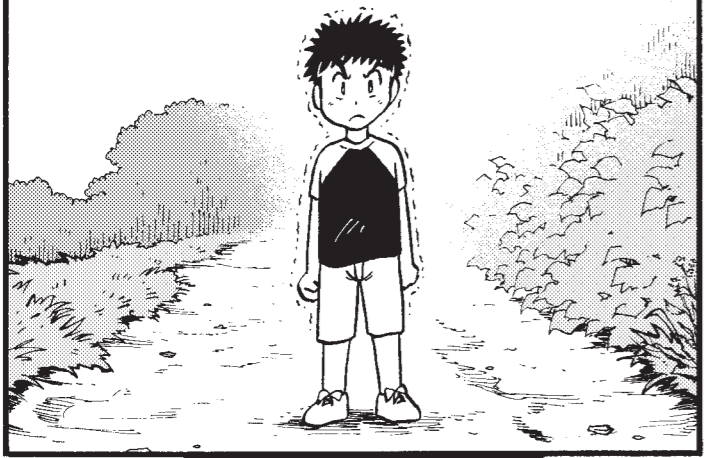


美来、見てみる!
イノシシだ!
山の中にイノシシが
いる!!

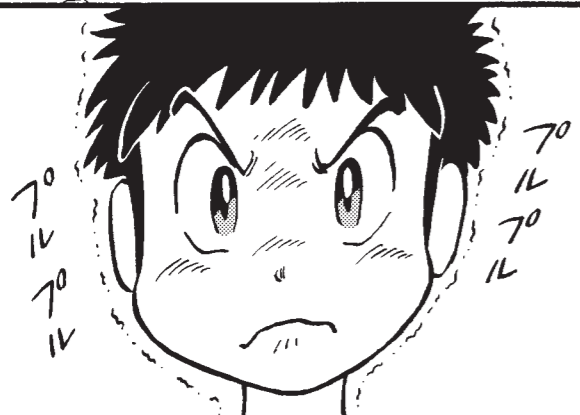


わ!!
ほんとだあ!





都会に住んどる
お前らのせいじゃ!!



シシが年々
すごい勢いで
増えとつてな

ほら、わしの
田んぼ
見てごらん

え?

いいよなあ、お前らは
のほほんと気楽に
都会に住んどつて!

なんだ、お前!
なんでオレたちが
関係あるん
だ!

うるさい!
何も知らん
アホめ!

だッ
カッ
いてっ

あれ?
なんだか
渦を
まいてると
いうか...

シシが稲穂を
食い散らかした
跡なんじゃよ

ええ!?
イノシシが稲穂を
食べてるの!?

確か、もう少しで
収穫できるん
だよな。お米つて...

模様がついてる...



すまん、
健太郎は
わしの孫じゃ

この町の中学校に
通つとるんじゃ
仲良くしてやってくれ

こらあ!
健太郎!!
大丈夫?

お兄ちゃん

う、うん

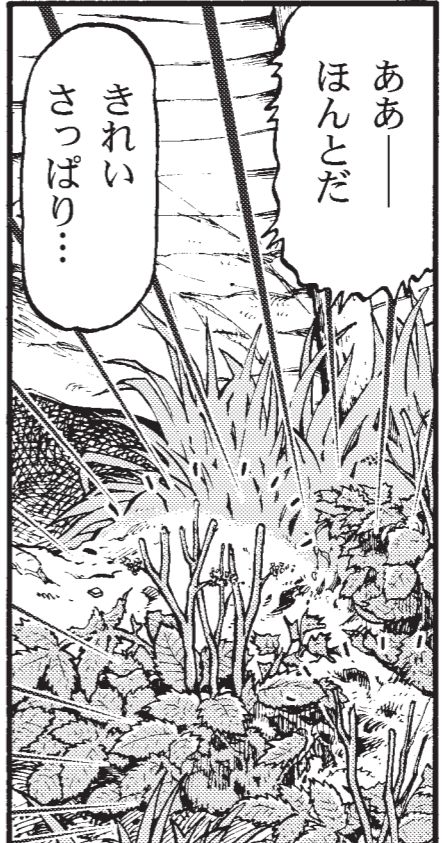
てめえ!

ああ—
ほんた

きれいな
さつぱり...

あぜ
畦も踏みつけて
崩してる

どうして
こんなことが
起こつてるんだらう...



シシだけじゃなく、
シカも増えて
年々、被害が
全国に拡大
しておるんじゃ

この町もじゃ...

ほら、美奈
畦を見てみい。
お前が写真を
撮りたいと言つとつた
チダケサシの花も
シカに食われて
しもうたぞ

ええ!?



残った人は高齢化して
いなくなつてきておつて
わしらも含まれるが――

それが今は多くの日本人は
都会の生活を好んで、農家や
猟師のなり手がおらん



…美来、昔から、シシ・シカなどの
動物と人間の間には常に軋轢があつて、
農民は被害を受けとつたんじゃよ

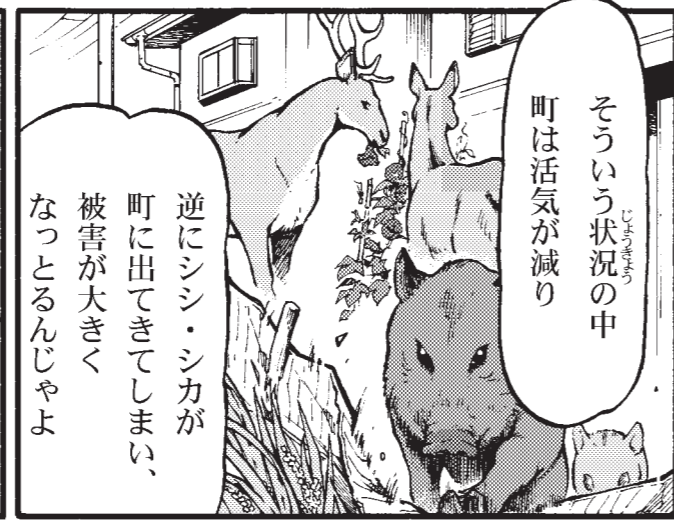
生活の糧にもなつとつた。

じゃけえ農家や專業の
猟師の人が捕つていたんじゃ



日本人が都会の
生活を好んで…か

…なるほど。



そういう状況の中
町は活気が減り

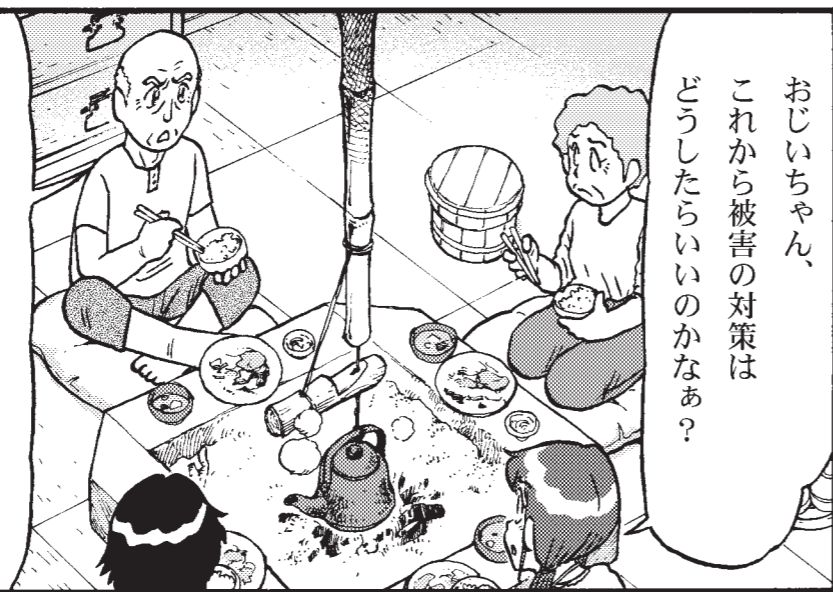
逆にシシ・シカが
町に出てきてしまい、
被害が大きくなつとるんじゃよ



シカが笹やぶを食べ
鳥が住める場所がなくなる

イノシシが絶滅しな植物を
掘りかえす

田んぼだけじゃなく、
畑や森の中まで被害は
進んぞる



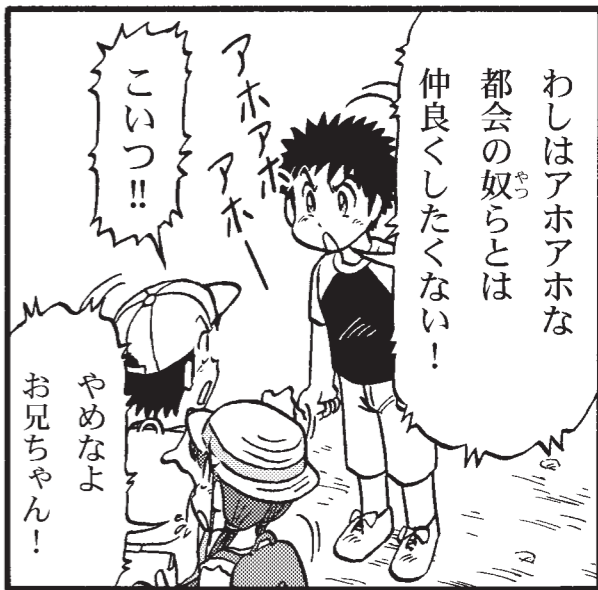
おじいちゃん、
これから被害の対策は
どうしたらいいのかなあ？



理由？



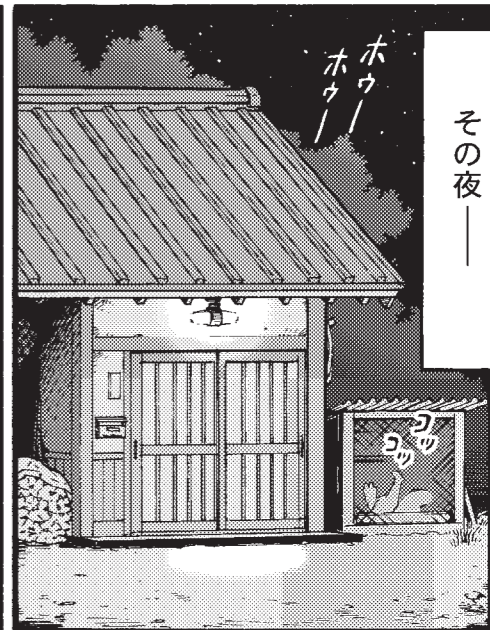
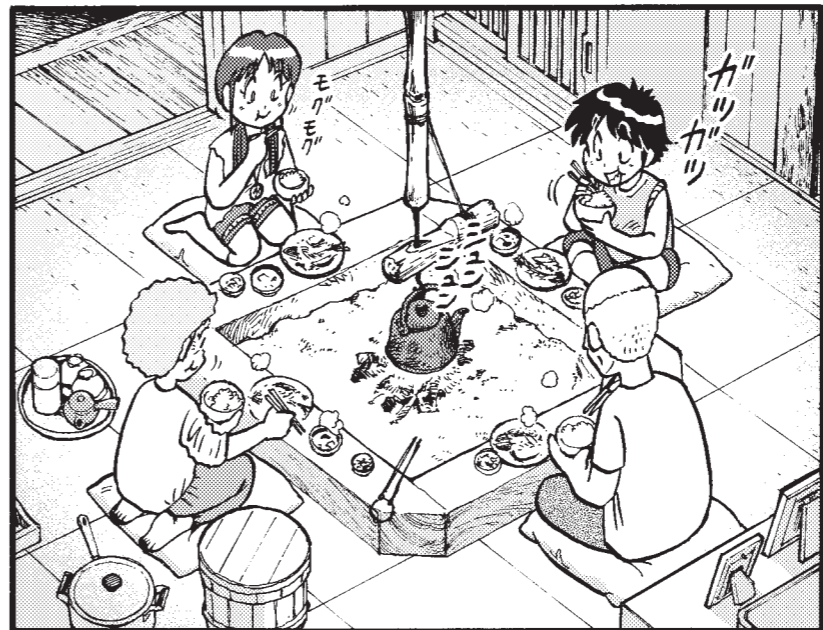
きつとなにか
理由があるんだよ
じゃないといきなり
こんなことしないと
思う



わしはアホアホな
都会の奴らとは
仲良くしたくない！

アホアホ
アホ
こいつ！！

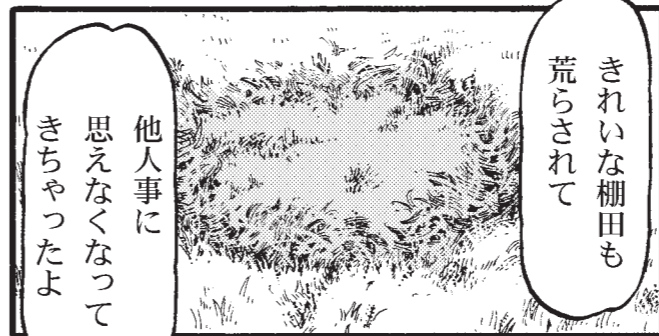
やめなよ
お兄ちゃん！



その夜――



…ねえ
おじいちゃん。
イノシシやシカで
被害なんて、
わたし
ちつとも知らな
かった



きれいな棚田も
荒らされて

他人事に
思えなくなつて
きちやつたよ

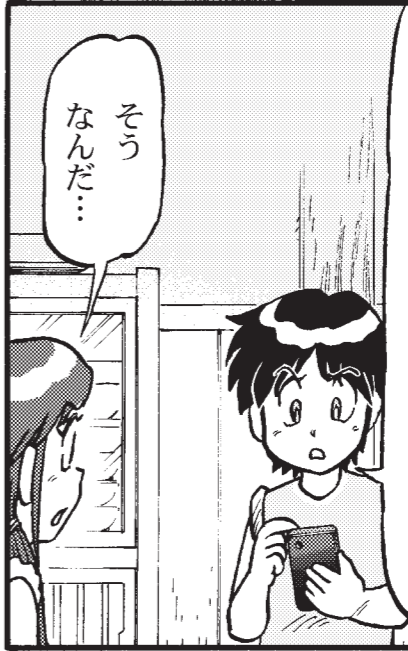


ばあちゃんの
作ったご飯は
うまいなあ！

うれしい限りじゃ。
お米を昔ながらに
甘みが増す天日干しを
しとるせいもあるからの



うーん、山のふもとの街でも被害が出てるみたいだ



そうなんだ！



このままじゃと、一希や美来たちの住む都会まで被害は進んでいくじゃろうのお

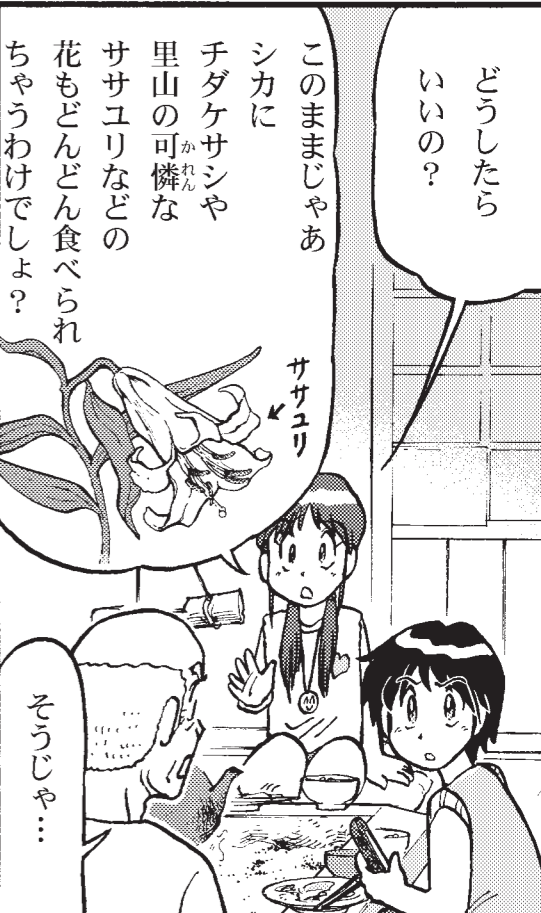


シシに人がかまれたり、車との衝突事故も起こつてる



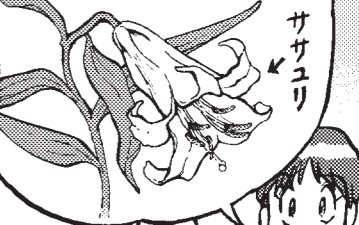
えんえん！
それは大変じゃん！！

なんとかしないと



どうしたらいいの？

このままじゃあシカにチダケサシや里山の可憐なササユリなどの花もどんどん食べられちゃうわけでしょ？



そうじゃ...



...駆除じゃ



田畑に柵を巡らせ
追い払うだけじゃあ
山や都会で被害が出る



えっ
駆除って...
もしかして...



そう。
かわいそうじゃが、
殺して数を減らす
しかないんじゃ



殺す!?

それはオレ、
抵抗ある
なあ



一希...
今、お前が
食べておる
ブタのハム
ブタはシシを人間の
都合のいいように品種改良
したものじゃよ

えん!?



ブタはイノシシが元祖なの!?



お前は殺した
ブタを食べて
おるんじゃ



そうか…
そうだよな。
そんなこと
考えたこと
なかった

なんだか
おいしく
なくなつて
きちゃつたよ

ちよつと生々しく
言い過ぎて
しまったかのお

元は生き物だったん
だよな

わたしたちは
他の生き物の
命をもらつて
生きてるんだ…

うーん

ねえ、最近、
“自然との共生”って
盛んに言われ
始めてるじゃない？

だからわたし、ただただ
殺していくだけでと
自然がおかしくなるような
気がするんだけど

わたしもそう思うとる

わしは米作りを長年やつて
きて、台風、日照りなど
体験してきた

自然は人間の
思うように
ならん。じゃが…

それをよく
日々の自然との
関わりを
通じてわかつた
上で、

シシやシカを駆除して、
ほどよい頭数にして
いかなくってはならんと
思うとるんじゃ

自然との共生？
オレ知らないな…

なんか色々検査じゃ
出てくるけど…

米も野菜も少し
くらいなら動物に
くれてやつてもええが、

根こそぎ食われては
暮らしが成り立たん。
困つた問題じゃ



うーん
いったい
どうすれば…

そうだ！
ブタの元祖が
イノシシなら
イノシシを食う！
殺すだけじゃ
もつたいない
から！

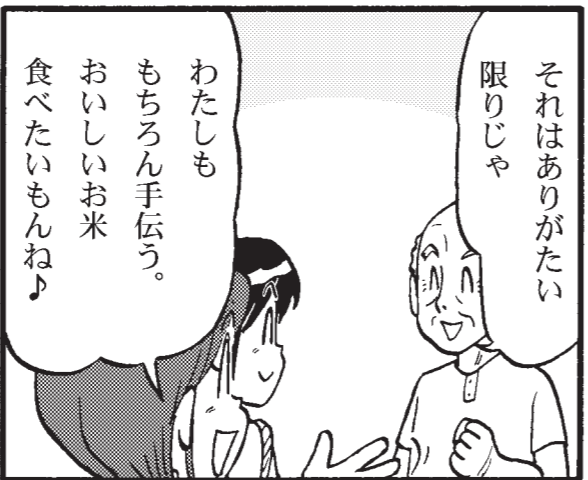
自然の恵みに感謝する
ことも大切じゃな

お兄ちゃん
グッド
アイディア！

よし、まずは
じいちゃん！
とりあえず
目先の対策に
しかならないかも
しれないけど

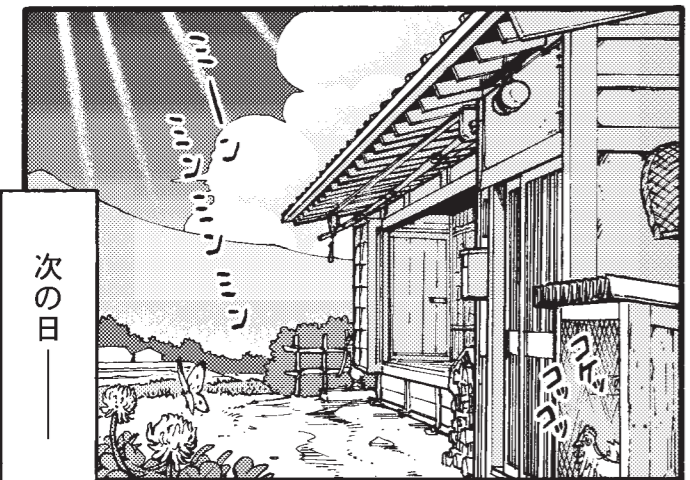
オレ、壊された
柵を頑丈にするの
明日、手伝う！

おおっ

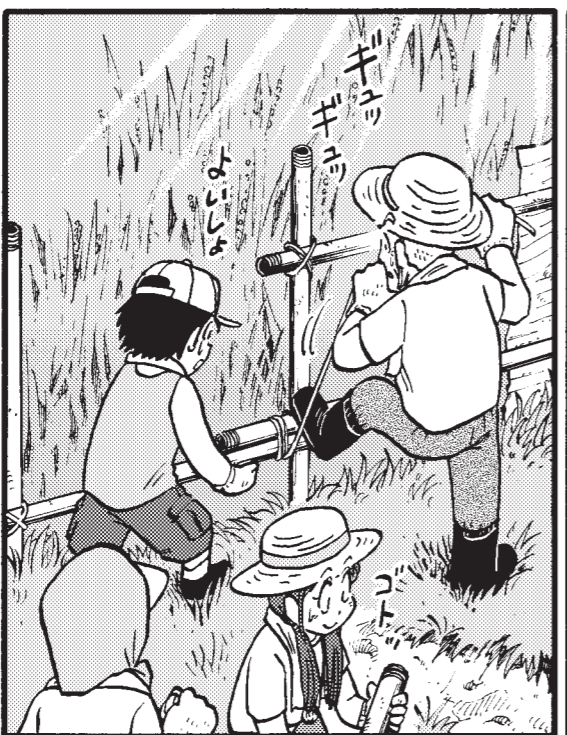
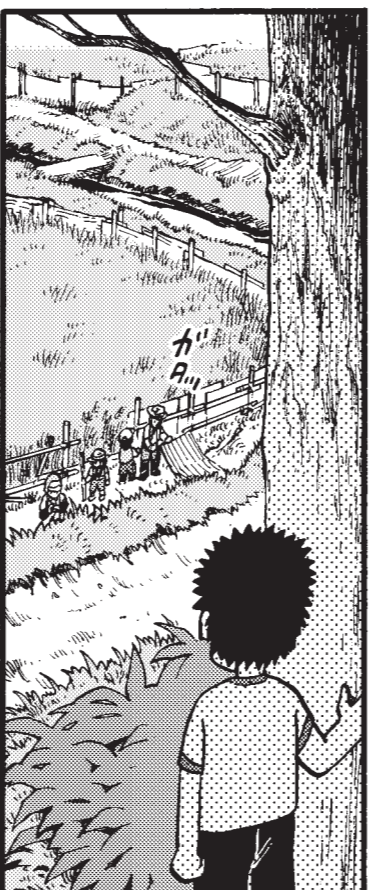


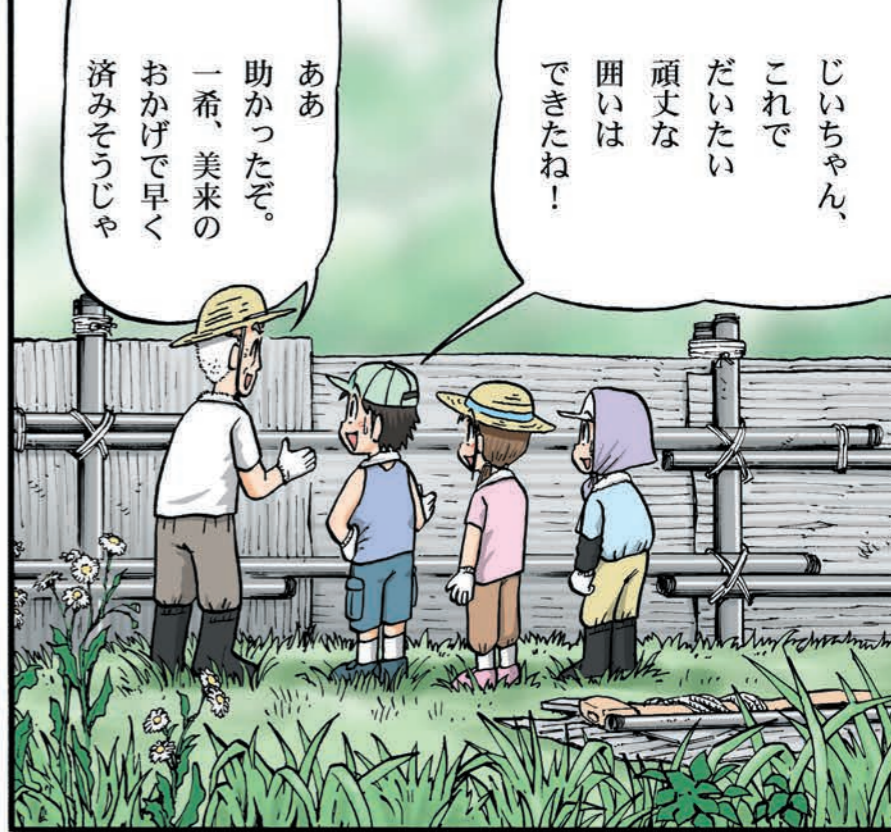
それはありがたい
限りじゃ

わたしも
もちろん手伝う。
おいしいお米
食べたいもんね♪



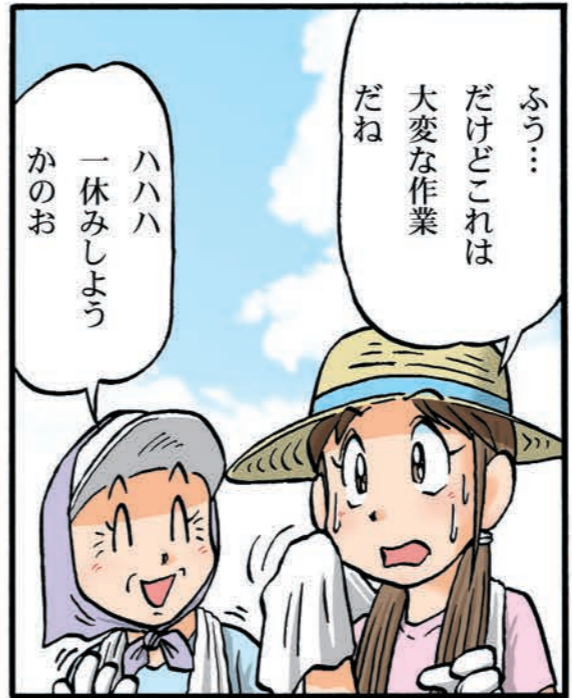
次の日





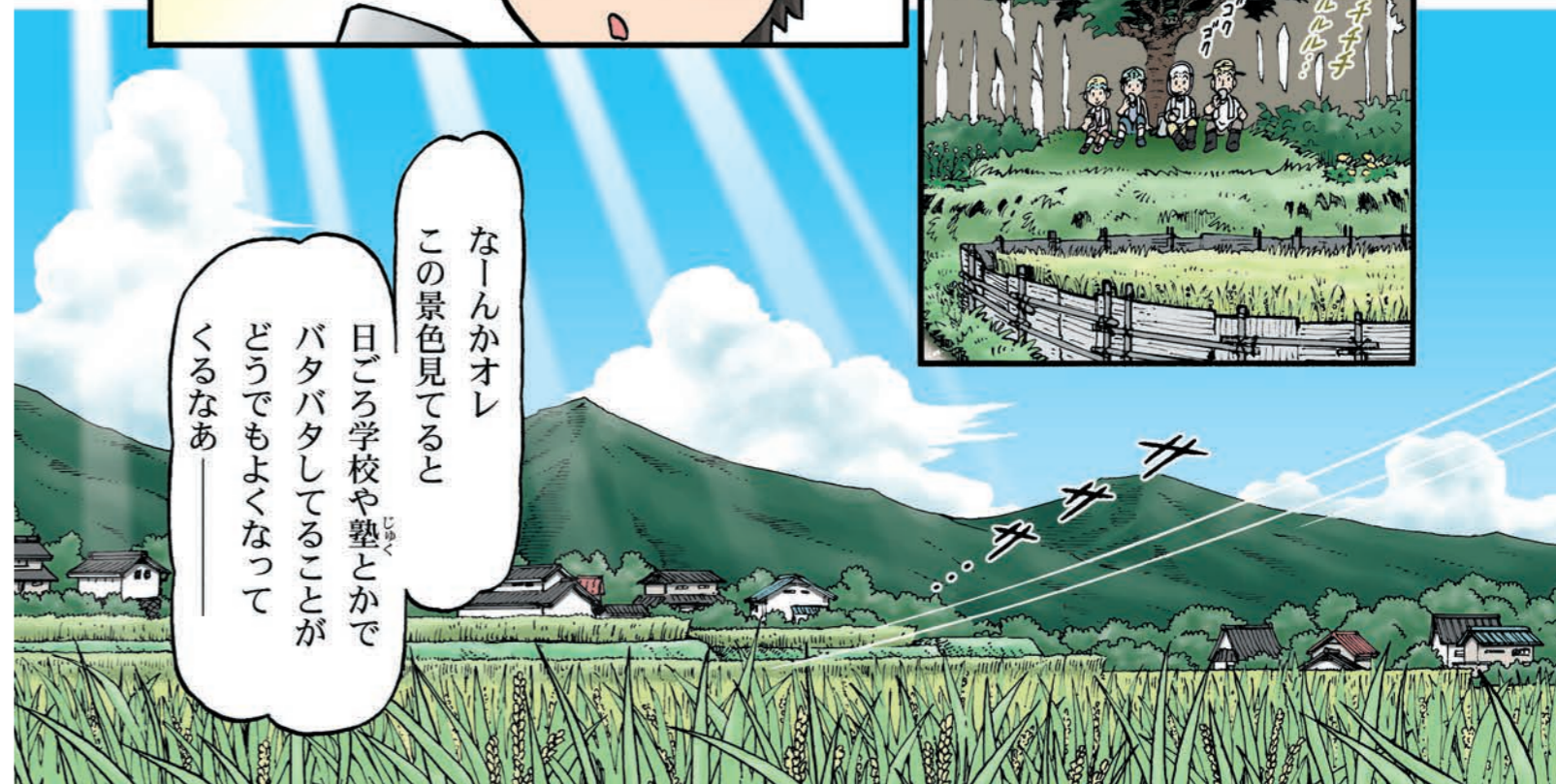
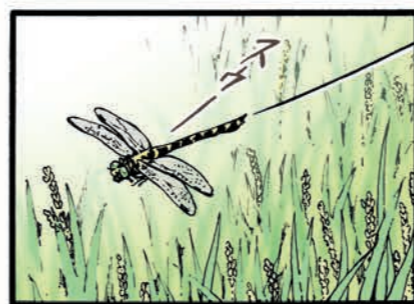
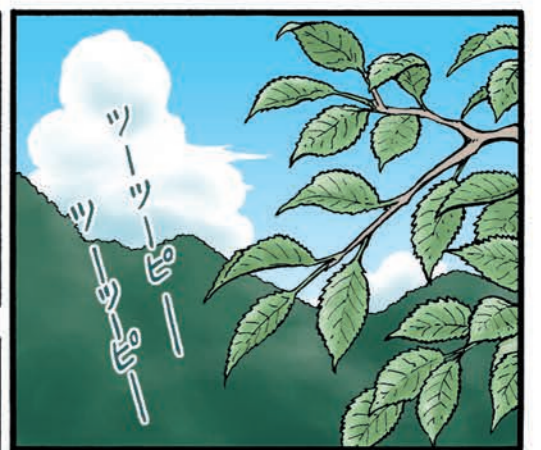
じいちゃん、これでだいたい頑丈な囲いはできたね!

ああ助かったぞ。一希、美来のおかげで早く済みそうじゃ



ふう... だけどこれは大変な作業だね

ハハハ 一休みしようかのお



なーんかオレこの景色見ると日ごろ学校や塾とかでバタバタしていることがどうでもよくなってくるなあ

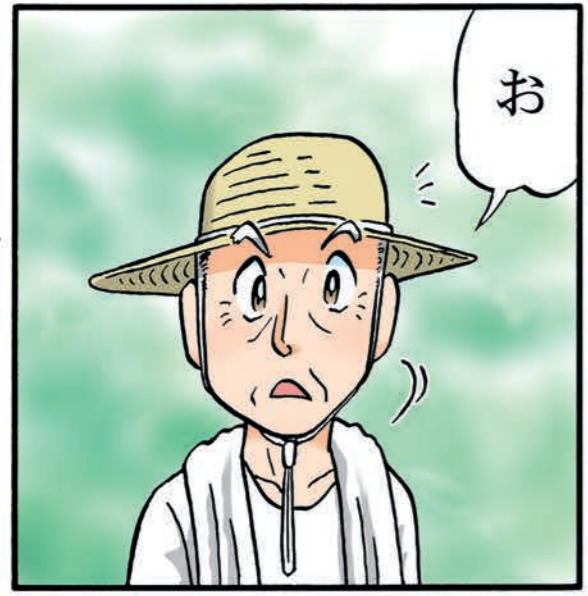


わたしも。中学に入ってテストがすごく増えてうんざりしてきてるんだよ

じいちゃんとしてはそのことにはあえてふれん



美来もか



お



八本松さん、柵作りご苦労じゃのお

わしらもしっかりがんばるけえの

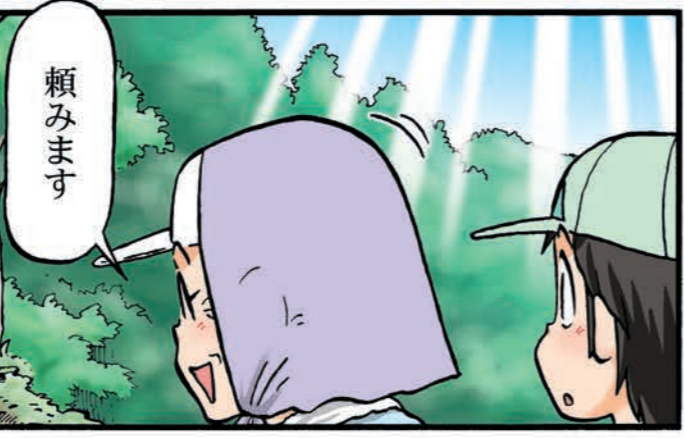
わしも先月、捕獲隊補助員講習受けた

おお北山さんよろしゅう頼む



山に仕掛けたワナ見てくるけえ!

来年には狩猟免許も取って集落をもっとしっかり守るつもりじゃ



頼みます



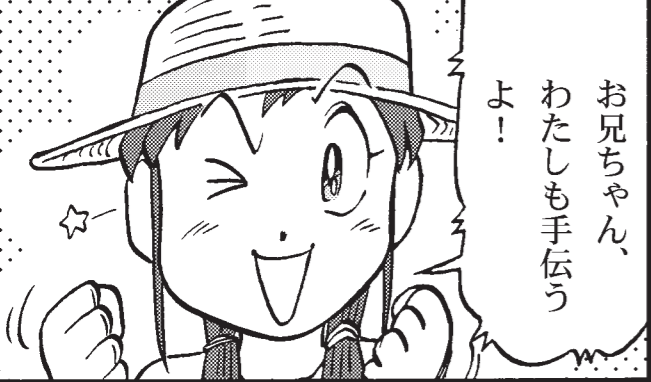
なるほど。この町ぐるみで組織立ててみんな協力しあってるってわけか...



多くの人の協力を得てるんじゃ。北山さんだけじゃ大変じゃからの

そうそう

※地域で一体となった取組において、狩猟免許所持者(この漫画では北山さん)でなければ、ワナ設置、止めさし(とどめを刺す)行為を行うことはできません。補助員の主な役割はワナの点検や餌置き等であり、この事により免許所持者のサポートをして、効率的な捕獲を進めるわけです。また、狩猟経験と知識のある狩猟免許所持者は補助員の育成をサポートします。



お兄ちゃん、
わたしも手伝う
よ！



オレと一緒にじゃん！

オレ、イノシシ・シカの問題、この町の
人たちと都会の人たちがつながっていることに
この夏、気づいた！

情報交換しながら
なんとかしていかない？

みんなにもっと
理解してもらおうよう
オレ、動き始めるから！



ありがとう…

わし、この生まれ
育った町が大好き
なんじゃ…



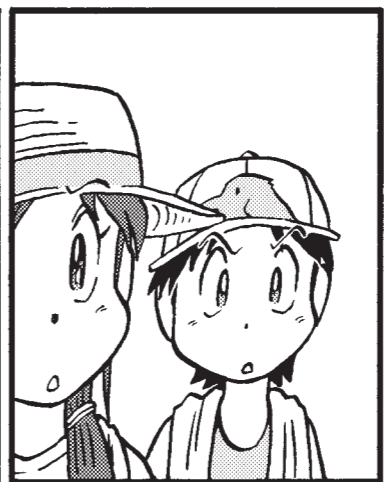
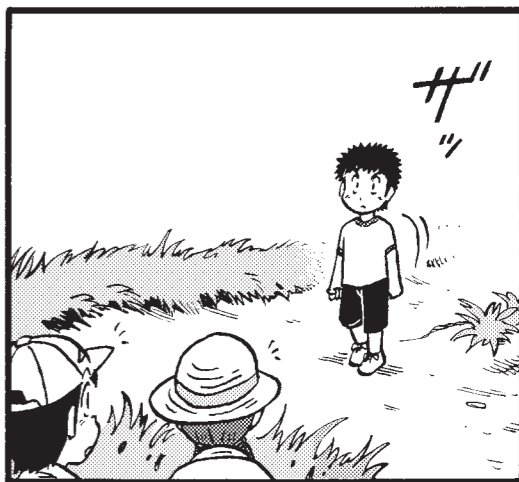
森のいろんな動物や植物、
そして田畑やわしらもみんなが
程々に満足できるぐらいに
なればいいんじゃないかのお

自然との
共生だね♪



美来、オレ
その意味がよくわかん
なかったんだけど、
ここで汗かいてちよっと
わかったような気がする

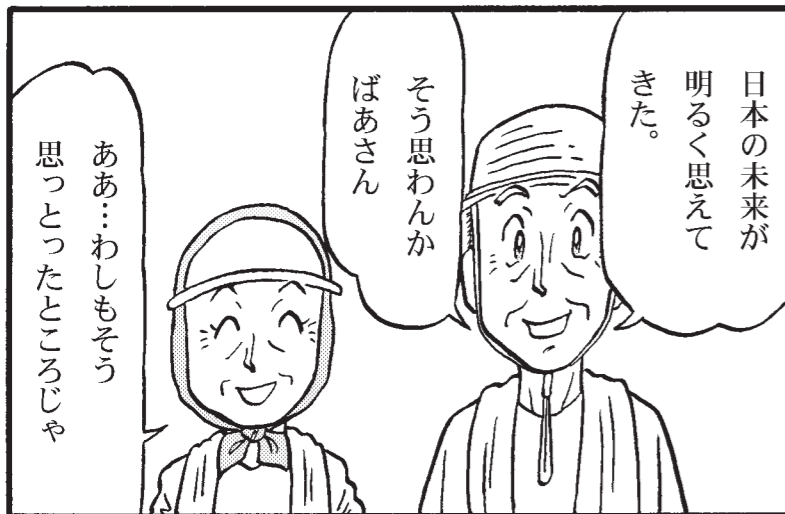
あ
実はわたしも



…お前いい奴じゃな。
さつきからずっと見とった



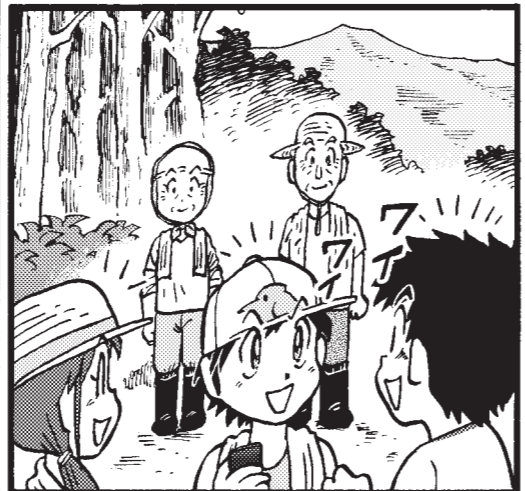
昨日は殴って
ごめん



日本の未来が
明るく思えて
きた。

そう思わんか
ばあさん

ああ…わしもさう
思っとったところじゃ



わしの家の田んぼも畑も
シシに荒らされまくって
気が立つとつたんじゃ

柵やワナを
家族で必死に作った。
大変じゃった…



そうなんだ。
…別に気にしてないよ。

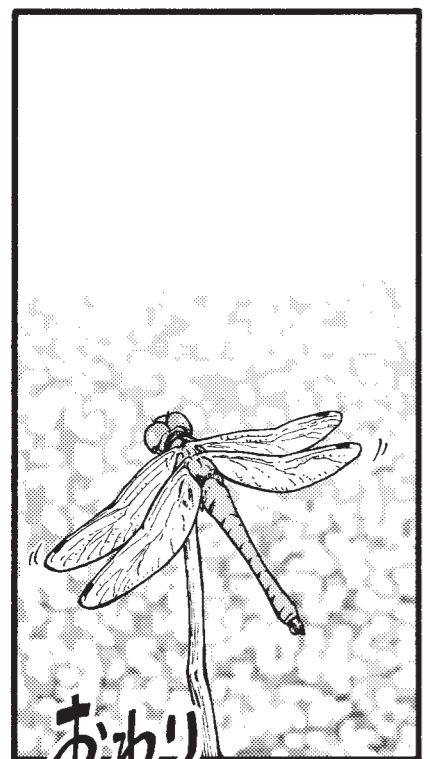
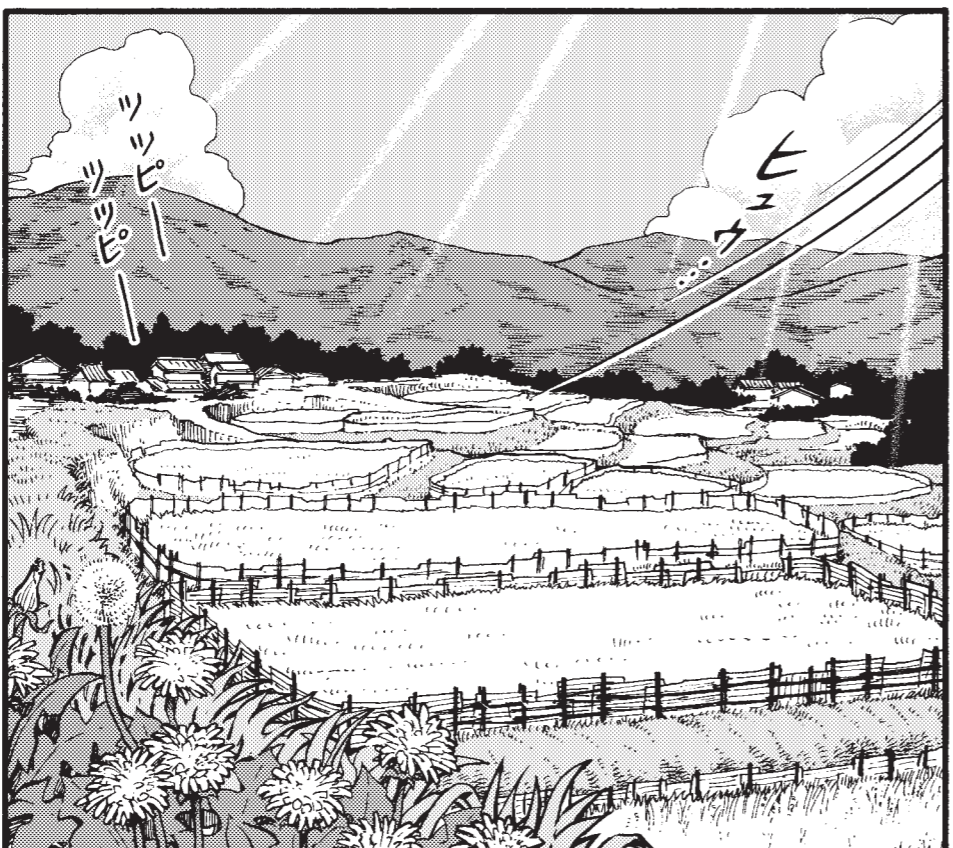
オレ、健太郎さんの
気持ち、じいちゃん・ばあちゃんの
話や今日の柵作りで
少しかもしれないけど理解できた

健太郎くん
何年生？

おじいさんが
中学校に通ってるって
言ってたけど…



中2



おわり